



2023年7月28日

朝日生命保険相互会社  
株式会社大和証券グループ本社

中米経済統合銀行が発行する「ブルーボンド」への投資並びに引受けについて  
～中南米地域におけるブルーファイナンスを支援する取組み～

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、中米経済統合銀行（Central American Bank for Economic Integration、以下「CABEI」）の中南米におけるブルーファイナンスを支援する取組みに賛同し、ESG テーマ型投融資の一環として CABEI が発行する『ブルーボンド』（以下「本債券」）への投資を行いましたのでお知らせします。

なお、株式会社大和証券グループ本社（代表執行役社長：中田誠司）傘下の和証券キャピタル・マーケッツアメリカ Inc. が本債券の単独引受け主幹事を務めました。

<本債券発行の背景>

CABEI は中米 5 か国（コスタリカ・エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・ニカラグア）によって設立された国際開発銀行であり、1960 年より中米地域各国の持続可能な発展と地域統合のための融資を行っています。

2022 年 12 月に、CABEI は国連グローバルコンパクトが発行した「Blue Bond Reference Paper Investments」および「Sustainable Ocean Principles」に基づく新たなブルーボンドタクソミーを策定しました。本債券によって調達された資金は、本タクソミーに則り、中米地域の水資源保護、持続可能な水管理、再生可能エネルギー、ブルーエコノミー、海洋生態系の保護を目的とするプロジェクトに使用される予定です。

<本債券の概要>

発行体名称	中米経済統合銀行（CABEI）
発行総額	30 百万豪ドル（約 28 億円）
償還期間	10 年
引受け	大和証券キャピタル・マーケッツアメリカ Inc.

対応する持続可能な 開発目標（SDGs）	<b>6</b> 安全な水とトイレ を世界中に 	<b>7</b> エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	<b>11</b> 住み続けられる まちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 
	<b>13</b> 気候変動に 具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを 守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさも 守ろう 	

当社は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、今後も ESG 投融資を一層推進してまいります。

<備考>

【CABEI におけるブルーファイナンスと関連のあるプロジェクト】

■ コスタリカ：リモン州における上下水道の整備プログラム

CABEI は、中米地域の海洋と海洋生物を保護するプロジェクトの創出に取り組んでいます。このプロジェクトでは、リモン州プエルト・ビエホのサンノゼ都市圏において、取水、浄化、配水、下水回収、廃棄物管理、除染、といった上下水道の近代化を実施します。



(出典) CABEI

■ コスタリカ：テンピスク川中流域および沿岸地域社会への給水プロジェクト

このプロジェクトでは、コスタリカで最も重要な農業地域の主要水源となっているテンピスク川の東方に位置するピエドラス川の貯水施設と、その貯水施設からの新たな配水路を整備することで、歴史的に乾燥しているテンピスク川中流域に水を供給できるようにします。



(出典) CABEI

**【大和証券グループについて】**

大和証券グループは、経営ビジョン「2030Vision」に掲げる「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現を目指します。ステークホルダーの皆様と共に、SDGsやESGに資する取組みを通じた中長期的な企業価値の向上およびサステナブルで豊かな社会の創造に努めてまいります。

(ご参考) 大和証券グループのSDGsに関する取組み：

[https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad\\_eir\\_sdgspress](https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress)

以 上